

第112回試験を受験する皆さんへ

# 全国からエールを送ります！

東京アカデミーを利用した  
合格者の先輩は

# 全国に20,113名！

※第110回国家試験のデータになります。

第111回国家試験の結果は判明次第公表します。

## 中部ブロック

高田 恵子 講師



コロナで落ち着かない世の中で、学習や実習環境の変化に対応しながら、国家試験に臨む状況におかれた受験生の中には不安な人も多いと思います。さらに、112回の国家試験からは、国家試験の出題基準が新しくなります。厚生労働省の意図は、現場に近い知識（＝臨床）です。臨床実践と判断能力が求められるということは、受験生は、解剖生理学を土台として、疾病的成り立ちを理解し、各期に合わせた治療・看護を選択するという、アセスメント能力と実践的な知識が求められます。また、世の中の流れとともに、傾向を踏まえて、ポイントを絞った効率の良い学習が必要となってきます。「丸暗記ではない、考える力を養う、合格できる勉強」が重要です。名古屋校では、看護師と社会福祉士の臨床経験の長い講師と国家試験専門スタッフが、受講生とのコミュニケーションを第一に、寄り添うことに力を入れ、最後まで諦めない気持ちを持ち続けられるように全面的にサポートしていきます。受験生の皆さん、名古屋校で、国家試験合格のために、今やれることと一緒にやっていきましょう！

## 中部ブロック

原 汐里 さん

名鉄看護専門学校 出身



私は学生の時、ほとんど勉強する習慣がなくその場をしのぐ程度でした。109回の国家試験では必修問題で1点足りず不合格でしたが、ある程度予想できていた悔しくありませんでした。コロナ禍での国家試験対策でしたが、Zoom授業や感染管理された校舎での授業はとても分かりやすく自分にあっていました。授業を受けて始めて知らないことの多さに気づくとともに知らないことが多いからこそ、頭に知識が入ってきました。大事なことは繰り返し講義中に先生が話してくれるのもありがたかったです。勉強に集中出来ないことがあっても、先生や事務局の方が親身に相談に乗ってくださいました。それは私の中でとても心強い味方ができたよう嬉しかったのを覚えています。また、同じクラスの一員で頑張る仲間と勉強でき、お互いに鼓舞し合えた事も合格できた要因だと思います。今、就職して働く中でも東京アカデミーで培った知識が役立っています。東京アカデミーに通えて良かったと思います。

## 中四国ブロック

田中 八重美 講師



コロナ禍により誰もが考えもしなかった、新しい生活様式による学生生活が長く続いている。そして、オンライン講義や学内実習など、大きな不安とストレスを抱えた中で迎える看護師国家試験も1年を切りました。看護師国家試験対策で最も重要なことは、苦手意識が一番強い「人体の構造と機能」を中心とした専門基礎科目ができるだけ早く定着させ、「応用力」を積み重ねていくことです。国家試験対策は何時間学習をしたかという「量」も必要ですが、学習内容の「質」の向上が特に必要だと考えます。また、コロナ禍における、看護師に求められる能力は高くなっているとも感じています。一人の学習は不安や諦めが頭をよぎります。看護師国家試験合格に向けて、同じ目標をもっている仲間と支えてくれる教務や私たち講師と一緒に「質」を追求した効果的な学習をしていきましょう。

## 中四国ブロック

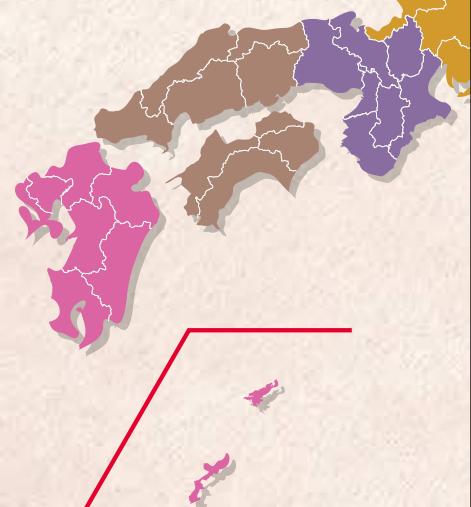
丸田 沙季 さん

広島文化学園大学 出身



私は第109回国家試験に落ちて1年間病院で働きながら東京アカデミーに通いました。働きながらの勉強は大変でしたが、夜勤のときや日勤のスキマ時間を利用して勉強をしていました。特に私は人体が1番苦手で、1人で勉強しているとすぐに集中力が切れたり、あまり頭に入らなかったりして苦労しました。ですが、東京アカデミーの通学講座では他の分野と関連づけて教えてくれるので、人体から疾患へつなげて、さらに看護につなげて考えることで少しづつ理解ができるようになりました。コロナ禍での勉強は大変でしたが、先生たちが明るく接してくれたので楽しかったです。色々と状況が変わるためにストレスも出てくるとは思いますが、東京アカデミーの先生たちは何でも相談できます。分からないがあればすぐに相談して解決してください！

合格を手にした  
先輩からの  
メッセージ



## 九州ブロック

是永 美恵子 講師



国試は過去問題の分析が重要であり、各系統別にポイントをしっかり押さえておかなくてはなりません。試験対策を行ううえで、問われている要点の捉え方・アセスメント方法をしっかり身につけ応用力を養う勉強をしていきましょう。近年の国家試験は難しくなっていますので、過去問をこなす昔のやり方ではなく、論理的に理解をすることが大切です。論理的に理解をして、本番で得点できる力を身につけましょう。

## 九州ブロック

阪元 菖 さん

熊本保健科学大学 出身



通学講座では、基礎的な内容から丁寧に教えてくださいました。先生の講義は本当にわかりやすく、元々勉強する事・覚える事がとにかく苦手な私もしっかりと理解することができました。また、毎週講義前の質問対応では、マンツーマンで手厚くフォローしてくださいました。短期講習もたくさん活用しました。夏期講習では問題演習メインの講義をしていただき、通学講座で習った事が身についているか、どの分野が苦手なのかを知るきっかけになりましたし、冬期講習では夏期同様の問題演習に加え、最後の追い込みという事で統計や国試までに確実に覚えるべき事をこれまで以上に教えていただきました。東京アカデミーなしでは間違いなく合格できていません。先生をはじめ、職員の方々からの沢山のサポートには大変感謝しています。本当にありがとうございました。

## 北海道ブロック

### 前田 浩美 講師



模試の点数が伸びない、学校の授業が難しい、今の勉強のやり方で間に合うのか、など国家試験に向け頑張る皆さんには様々な不安があると思います。こんな時、共に寄り添えるのが東京アカデミーの強みです。

私達講師が心がけている事は、分かりやすい事はもちろん、一生使える知識につなげ講義を行う事です。「疑問点を残さないよう理解しやすくていいねいに」をモットーに楽しく学習できる形式で進めてまいります。

勉強のモチベーションが上がらなかつたり、1人で理解できない問題点があつたりしたら、共に考え、全力でサポート致します。国家試験合格に向け真剣で楽しい時間を共有しましょう。

私は、通信制の学校卒で既卒の受験でした。昨年は苦しくも、一般・状況設定問題は合格圏内であるにも関わらず、必修問題があと3点足りず涙を飲んだという結果だっただけに、何としても今年は絶対に合格したいと考え、5月より通学講座に通い、その後夏期講習・冬期講習等、ほぼ全ての講習を受講し、基礎から学び直し、おかげさまで無事、国家試験に合格することができました。

ほぼ毎週末の日曜日、札幌まで通学するなか、何度も心が挫けそうになりましたが、そんな時、挫けそうな心を奮い立たせてくれたのが東京アカデミーの各講師陣の方々と事務のスタッフの方々の温かい言葉でした。

特に国家試験が近づくと、講義の開始前や講義終了後、質問対応で講義の度に、専属の講師の方のみならず、医大生の講師の方々や事務のスタッフの方が、私たち受講生に対し励ましの声をかけてくれました。勉強面では専属講師、医大生講師の方々が「授業で覚えた知識はインプットの知識! 知識量を増やすにはインプットだけでは駄目! インプットとアウトプットのバランスと繰り返しが大事! 問題集で自分の知識を確認し、間違えたところは再度やり直す。同じところをやり直し、繰り返す事で短期記憶が長期記憶になる。」と何度も強調され、時には暗記の為の口コ合わせ・覚え方や、国家試験に出そうな重要ポイント等の指導をしてくださいました。

講師面談では、「既卒者の合格率が現役の学生と比べて著しく低いのは、一人で勉強している心が途中で折れ、勉強のモチベーションの維持・継続が続かないからだ。看護師国家試験は、決してふるい落とす為の試験ではない。コツコツと勉強を継続して頑張れば必ず合格できる。」と言つて下さり、それと併せ、過去の模試の結果からの科目分析、国家試験に向けての心構え、勉強の進め方等、細かいところまで指導をいただき、勉強面以外の所でも強く支えてくれました。

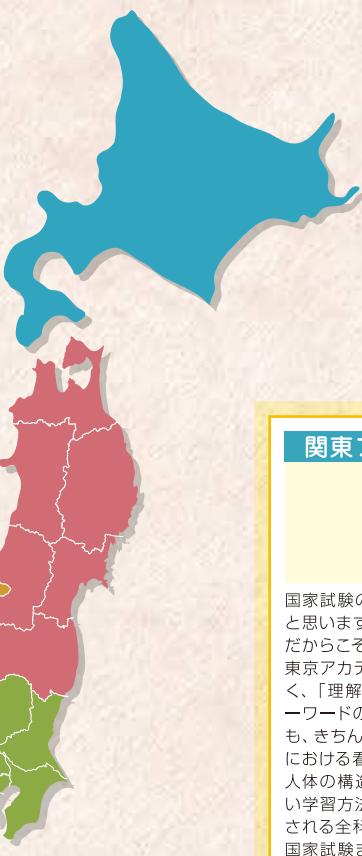
結果、それが試験勉強のモチベーションを維持する力になり、国家試験合格に繋がる事が出来ました。これから国家試験を目指す皆さんにおいには、臨床実習、レポートの作成・提出、仕事等、時間に追われ、非常に忙しい日々を送られると思いますが、大事なのは「絶対に合格するんだ!」という強い気持ちの維持です。その強い意志と共に、正看ナースになって何をするのか、どんなナースになるのか、自分のビジョンを持って頑張ってください。

## 北海道ブロック

### 高 栄一 さん



札幌医学技術福祉歯科専門学校 出身



## 東北ブロック

### 秋谷 明子 講師



国家試験は、アセスメント力が必要となる思考型の問題へと変わってきています。それにより問題解決力が必要となります。問題解決力を鍛えるためには、「なぜ?と考えるクセ」を身につけることから始まります。興味を持つ、考えてみる、という事が国試合格に必要な要素です。自分が勉強したこと、人に分かりやすく説明するのも能力を鍛える1つの方法です。話をするためには、自分がきちんと理解していることが重要です。そのためには、アウトプットする必要があります。自分が勉強したことと思い出し、繰り返して行うことで、自分がつき、話をしたくなります。ぜひ東京アカデミーの講義を受講して、合格を勝ち取りましょう。ここで学習する知識は、国家試験にかかるための学習ではなく、臨床でも活用出来る知識を増やすための学習であることを忘れないでください。

## 東北ブロック

### 小泉 杏奈 さん



花巻高等看護専門学校 出身

国家試験の学習についてなかなか自分でどのように学習したらよいかわからずにいたところ、学校の先生の勧めもあり、東京アカデミーの通学講座に参加しました。最初は不安で一杯でしたが、講義を受講していく中で、少しずつ理解できるようになりました。さらに不安を解消できたのは、講師の方々の本当に明るく前向きな講義だったからです。

講義には無理せず通うことができ、講義がない日は講義の復習に充てた学習ができました。また、移動時間等、空いている時間も学習時間に充て、最終的に合格することができました。

東京アカデミーの先生方がいなければ合格することができなかつたと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## 関東ブロック

### 秋山 志緒 講師



国家試験の勉強の時期は、実習や就活、卒論や仕事と重なり忙しい人も多いと思います。だからこそ、効率の良い学習で合格を勝ち取りましょう。東京アカデミーの講義で大切にしているのは、ただ暗記すればいいのではなく、「理解」することです。特に、人体の構造と機能や疾病の成り立ちは、キーワードの暗記だけでは得点は難しく、なかなか合格点には達しません。でも、きちんと「理解」して進むことで、成人看護学や母性看護学、小児看護学における看護の根拠となり、得点にもつながります。

人体の構造と機能や疾病の成り立ちをしっかりと理解することこそ、効率のよい学習方法なのです。通学講座では、基礎看護学や社会保障制度など、出題される全科目を一からしっかりと「理解」できるように学ぶことができます。国家試験までは限られた時間しかありません。ぜひ一緒に合格を勝ち取りましょう。

## 関東ブロック

### 坂口 舞 さん



千葉医療センター附属千葉看護学校 出身

私は秋からの通学講座を受講しました。きっかけは夏前の模試で必修一般状況どちらも合格点に届かず焦りました。通学講座では専用の問題やオープンセサミを使用し、講師が図や口コを使いながら解説して下さり覚えやすかったです。特に講師に質問ができる疾患や解剖生理などの理解度を深められとても良かったです。また、オープンセサミは国試によく出る疾患がまとめられているため模試の復習などでも使いやすく、知識の幅を広げることができたと思います。これから受験される皆さん、勉強を始めるときに遅すぎることはないと思います。勉強する中で不安もでてくるかもしれません、努力したことは裏切らないと思います。あさらめずに頑張ってください。

## 関西ブロック

### 野々垣 亨亮 講師



勉強が苦手!という受験生に共通していることは、知識を覚えようとしていることです。「覚える」作業は苦痛で長続きしません。つまり、覚えようとしている人は自らいばらの道を進んでいるわけです。重要なことは「理解すること」です。

東京アカデミーの講座では、「学校で学んだ知識を仕組みから押さえることで、膨大な量の知識の点と点を線にし、線と線を面にしていく。そうすることで、活きた知識を養っていくだ。」ことを大切にしています。そして、これが我々の使命です。一度近くの校舎に遊びに来てみてください。勉強の常識が変わります。

## 関西ブロック

### 多田 まゆみ さん



大阪保健福祉専門学校 看護通信教育科 出身

私は必修の点数が足りず、2度目の国家試験チャレンジになりました。自己学習では合格は難しいと痛感し、東アカの体験講義に参加したところ、講師の児島先生の熱い思いが伝わきました。この学習方法なら頑張れると思い、通学講座にて学ぶことができました。コロナ禍でなかなか授業がスタートできず、リモート授業も私は出来るかなと心配していましたが、講師やスタッフの方々の丁寧なアドバイスのおかげでスムーズに学習することができました。オープンセサミは何度も見返して空欄に記入する事により、分からぬ所も段々と理解ができるようになりました。以前は問題集の答えを丸暗記して失敗したので、今回は色々な問題集は使わず、でた問一冊に絞り、すべての答えをノートに書きこむことでかなり点数を取る事が出来たと思います。国試受験生の皆様、とにかく自分を信じて最後まで頑張ってください。人生の大先輩より応援しております。

# 東京アカデミーが誇る自慢の講師陣より

それぞれの地域で  
皆さんを  
お待ちしています!